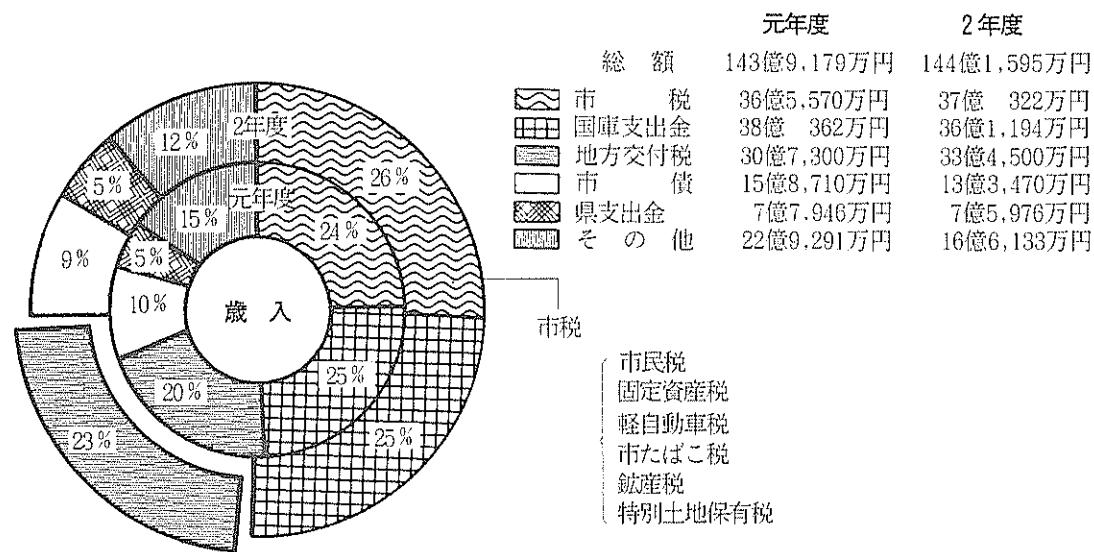


平成2年度一般会計予算

快適な都市を目差して

前年度比0.2%増 総額

2年度歳入対前年比



平成2年度の一般会計予算がこのほど決まりました。

本年度国は、地方の自主的、主体的な地域づくりの推進による多極分散型国土形成や、高齢化社会の発展への対応などを最重点施策としています。そのための措置によって、地方交付税の総額は前年度に比べ大幅に伸びていますが、使途に制約があり、実質的な伸びはあまり期待できません。

このような背景のもとに編成された本年度の一般会計予算は、総額144億1,595万円で、前年度の当初予算に比べて0.2%増加しています。主要な一般財源である市

税、譲与税、交付税等の自主財源は前年度に比べて6.3%増加していますが、歳入に占める割合は32.5%で、依然として依存財源に頼る構造になっています。また、消費的経費が前年度に比べて4%も増加するなど、財政運営はますます厳しくなっています。

歳出における衛生費の伸びは、香南清掃組合改築に伴う負担金の増によるものです。

本年度の主な事業は次のとおりです。

■市発展の基礎づくり

道路や橋梁の改良、道路台帳の補正などに3億5,135万円、都市計画道篠原八幡線整備1,219

万円、河川改良2億2,830万円、総額5億9,184万円を計上。

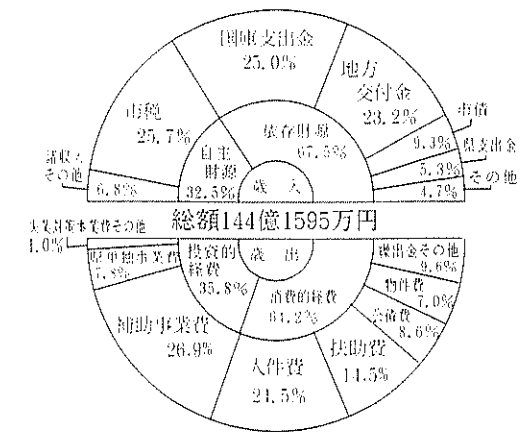
■快適な生活環境都市づくり

十市パークタウンの錦城公園整備に9,400万円、浦戸湾東部流域下水道、十市浄化センターなどの下水道整備に4億7,381万円、水道事業整備に3億1,446万円、廃棄物最終埋立処分場の基本計画、整備計画の作成やし尿処理場の調査などの清掃対策整備に2億5,996万円、消防施設の整備に3,069万円、中心市街地の住環境整備や商店街の活性化を図る市街地再開発事業に1,540万円、住民表示事業に1,017万円、総額11億9,849万円を計上。

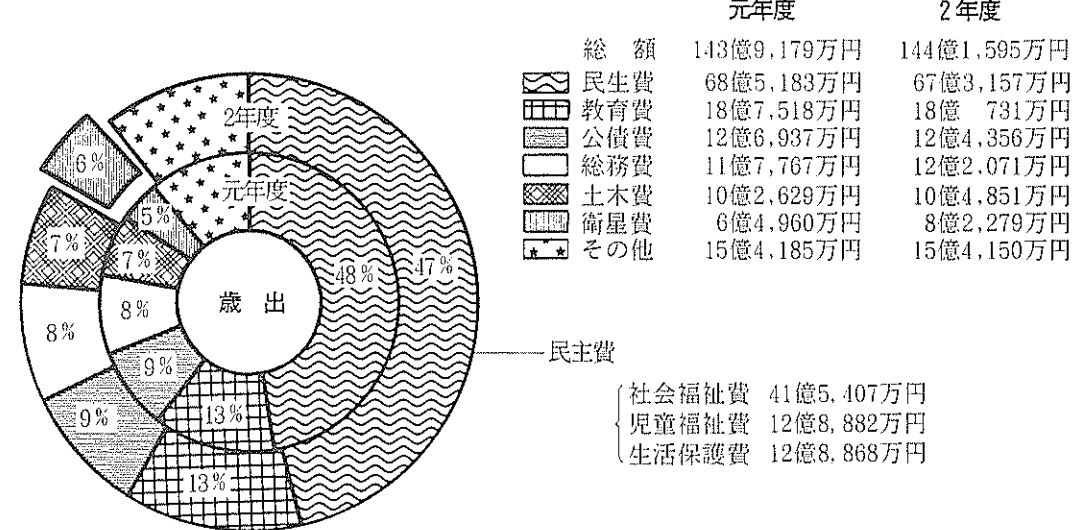
事業を実施

144億1,5952円

歳入歳出性質別グラフ



2年度歳出対前年度比



■活力ある産業都市づくり

土地改良や農道の整備等農林業の振興のために3億5,763万円、商工業の振興のために7,458万円、総額4億3,221万円を計上。

■支えあう健康都市づくり

児童手当や母子、父子福祉手当などの児童福祉対策として12億8,883万円、福祉タクシーなどの身障福祉対策として1億6,020万円、心身障害者の共同作業所建築の補助金などの精神薄弱者福祉対策として1億476万円、特別養護老人ホーム白銀荘建設の補助金などの老人福祉対策として5億4,398万円、同和対策事業に28億8,361万円、保健衛生に

8,030万円など、総額51億5,578万円を計上。

■市民とともに伸びる教育文化都市づくり

学校施設の整備に9億5,609万円、小蓮古墳整備のための用地購入などの文化財保護に2,100万円等、総額9億8,347万円を計上。

そのほか、人材育成事業や国際交流、まほろばの里整備事業などが予算化されています。

※消費的経費とは、人件費、物件費、維持補修費用、扶助費、補助費等であり、全国的に本市と同規模の自治体における歳出に占める割合は、平均39.6%となっています。

特別会計・企業会計予算

	2年度	元年度	対前年度比
下水道事業特別会計予算	5億9,663万円	10億8,885万円	△45.2%
老人保健特別会計予算	38億6,581万円	37億9,945万円	1.7%
住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	3億3,030万円	3億8,335万円	△13.8%
国民健康保険特別会計予算	33億7,760万円	33億1,427万円	1.9%
水道事業会計予算	7億9,782万円	7億5,891万円	5.1%